

土木交通委員会説明資料

令和7年3月14日

交通局

目 次

頁

1	主な案内サインの整備前後の比較	1
2	東山線の混雑緩和策の検討	2
3	電気バスと燃料電池バスの比較	3
4	地下鉄車内デジタルサイネージ広告	4
5	地下鉄駅デジタルサイネージ広告	5
6	働きやすい環境づくりの主な取組	6

1 主な案内サインの整備前後の比較

区分	整備前	整備後
駅名		
誘導		
トイレ		

2 東山線の混雑緩和策の検討

(1) 実証実験の内容

区 分	内 容
概 要	桜通線名古屋駅改札内に混雑緩和キャンペーン用端末を3台設置し、平日の朝のラッシュ時間内に、mana等の交通系ICカード乗車券をタッチした利用者にメダルを付与し、メダルが一定数貯まると、抽選でmanaチャージ券と引換えすることができる。
実施期間	令和7年4月1日～令和7年5月30日
実施時間	平日の朝ラッシュ時間 7時30分～8時30分
対象ICカード	全国相互利用可能な交通系ICカード乗車券
メダル付与方法	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋駅から入場し、キャンペーン用端末に対象ICカードをタッチ ・1日1メダル獲得
抽選方法	<ul style="list-style-type: none"> ・5メダルにつき1回抽選に参加（期間中最大8回） ・抽選に当たるとキャンペーン用端末で景品引換券が発券
景品引換	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋サービスセンターで景品引換券をmanaチャージ券と引換 ・引換期間は、令和7年5月1日～令和7年6月15日

(2) 全体事業費の内訳

(単位 千円)

区 分	内 容	予 算 額		
		6年度	7年度	計
機器賃借料	キャンペーン用端末3台	—	4,900	4,900
景品代	manaチャージ券 1,000円×5,000人	—	5,000	5,000
事務費	PRポスターなど	2,136	500	2,636
	計	2,136	10,400	12,536

3 電気バスと燃料電池バスの比較

区 分	電 気 バ ス	燃 料 電 池 バ ス
駆 動 方 法	バッテリーに充電した電気によりモーターを動かして走行	水素を燃料とし、空気中の酸素との化学反応で作られた電気によりモーターを動かして走行
航 続 距 離	ディーゼルバスより短い。	ディーゼルバスよりやや短い。
1 km 走行あたりの燃 料 費	ディーゼルバスと同等以下 (電気料金)	ディーゼルバスの2倍超 (水素燃料費)
燃 料 補 給 方 法 等	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所内の専用充電器で充電 ・充電に長時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所外の水素ステーションで補給 ・水素ステーションへの往復に時間を要する。

4 地下鉄車内デジタルサイネージ広告

(1) 収支見込等

単年度収支見込	86,816千円
整備費	206,492千円
回収年数	約3年

- (注) 1 単年度収支見込は、設置拡大に伴って増加する広告料収入見込から、増加する運営費見込を減じた金額
2 整備費は、設置拡大する20編成にかかる初期費用

(2) 今後の方針

他路線への車内デジタルサイネージ広告の拡大については、東山線の販売状況を踏まえ、ニーズや収支を十分に見極めながら、引き続き検討する。

5 地下鉄駅デジタルサイネージ広告

(1) 設置の考え方

交通局契約広告取扱者の意見を参考に、採算性を慎重に検証し、一定の収益が見込める場所については、交通局が公設の広告媒体として設置することを基本とする。

広告が未設置の場所等において、広告取扱者が随時設置提案できるようにした上で、設置の提案があり、交通局が支障がないと判断すれば、提案者が民設の広告媒体として設置する。

(2) 今後の方針

紙媒体の需要が減少し、デジタルサイネージの需要の高まりがある中で、広告のデジタル化の取組は、広告料収入を増加させていくための有効な手法であるため、設置拡大を検討する。

6 働きやすい環境づくりの主な取組

区 分	内 容
人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・大型第二種免許未取得者を対象としたバス運転士の採用選考の実施及び免許取得費用の助成
職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市バスの乗務員待機所や女性職員用トイレ等の整備 ・地下鉄駅等における女性職員用施設の設置や仮眠室の個室化等
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・市バスの乗務員等を対象とした脳MRI健診の実施 ・新規採用者に対する保健師面談
熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季期間における市バス営業運行中の脱帽 ・技術職場への空調服の導入
柔軟な働き方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸現場における部分休業（短縮勤務） ・子育て支援に係る休暇制度の拡充
風通しの良い職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員との局長等意見交換会の実施 ・なやみ相談窓口の設置